

ゆ い とよとみ

① 涌井・豊富地区 (美里町)

◆農家戸数 45戸
◆農地面積 35.7ha (うち35.2haは水田)

住み続けられるふるさとづくり ~みんなのできることから少しずつ~



[中山間農業ビジョンの概要]

集落の課題(現状)

- 高齢化、担い手不足が深刻化
- 狭小な水田が機械化の支障になっている
- 遊休農地が増加
- 農産物への鳥獣被害が深刻化

目指す将来像

- 耕作条件を改善し、大型機械を導入
- 農地改善で、高単価作物を導入
- 地域の特産品を新たに開発・販売
- 農業所得を現状より5%向上
- 地区外の担い手の農地受け入れ

具体的方策

- 基盤整備(耕作道路、機械利用効率化、生育環境)
- 高単価作物の導入(にがごり、かぼちゃ(くりゆたか)、スイートコーンなど)
- 農観連携の実施(フットパス事業と連携した都市との交流)
- 研修会の実施(将来の取り組みに向けて)

[ビジョン策定のプロセス]

事業開始の目的

- ◆ 狭小で不整形な農地が点在する地域。
- ◆ 個人での区画整備は困難で、農地を次世代にいかに受け継ぐか、大きな危機感があった。
- ◆ 中山間地域総合整備事業で「優良農地の整備」が開始。
- ◆ 中山間農業モデル地区支援事業であれば「優良農地以外の整備」も可能。
- ◆ 将来へ向けた地区全体の基盤整備として推進を決断。

圃場整備委員会の設立

- ◆ 高齢化と後継者不足が深刻化。地域の衰退への危機感が高まる。
- ◆ 平成27年、涌井地区内の庵室で機械利用組合を立ち上げ。目的は、水田の拡張、大型農業化による農家数の拡大であった。
- ◆ 平成28年、モデル地区事業が浮上。
- ◆ 上記のような流れで、大型農業化に前向きな機運が醸成されており、中山間地域総合整備事業圃場整備委員会を設立するに至る。

農業ビジョンの策定

- ◆ 平成29年9月、ビジョン検討スタート。初回は役員4名のみの出席。
- ◆ 「将来的には集落営農につなげていきたい」など目指す将来像を話し合った。
- ◆ 当初は「基盤整備について」をメインに考えており、本来の目的である「地域の将来ビジョン」とはやや外れた内容となったが、回を重ね、より幅の広い将来像を検討していくに至った。
- ◆ 住民の機運を高めていく場としても活用できると考え、情報交換などにも積極的に利用していくこととした。



ビジョン案の策定会議



地権者による現場確認

① 涌井・豊富地区 (美里町)

住み続けられるふるさとづくり ～みんなでできることから少しづつ～

[具体的な取り組み 計画と取組現状]

成果目標(令和3年度): ①里芋の作付面積を50a増加 ②都市との交流事業を実施 ③「くまさんの輝き」作付け25a実施

1. 基盤整備の実施

- ◆耕作道路の幅員2mを3m程度に拡幅。機械が進入できるように。
- ◆作業環境を改善、機械の利用効率化を図り、広域的な集落営農へ。
- ◆作物の生育環境を改善し、更なる良質米の栽培、収量の増加を図る。

- ◆一部農地については、耕作道路と用水路の改修を実施。交通の便に供し、農地管理にも効果が上がっている。

作業路整備の前と後



2. 高単価作物の導入

- ◆にがごり栽培の推進。
- ◆かぼちゃ(くりゆたか)とスイートコーンを試験的に導入する。
- ◆くりゆたかとスイートコーンを特産品として位置付け、物産館等で販売。

- ◆にがごり、里芋などは取り組み実施中。
- ◆くりゆたか、スイートコーンは試験栽培中。
- ◆農業所得5%向上を実現。ただし、まだ不安定。



3. 農観連携の実施

- ◆中山間事業及び集落協定により、フットパス事業と連携し、都市との交流事業を行う。

- ◆美里フットパス協会の「霊台橋石橋コース」に協力。食材の提供などを行っている。
- ◆フットパス参加者からの直接注文、生産者と参加者の交流などの成果が生まれている。



4. 研修会の実施

- ◆地域にあった将来の取り組みに向けた研修会を開催する。

- ◆まだ手付かずである。
- ◆今後の計画として、鳥獣被害対策の研修会・勉強会を検討している。

[成果と今後の展開方向]

1. 全体的な成果

- ◆住民のやる気を引き出した！
具体的な成果はこれからという分野も多いが、地域の活性化が大きな成果。
- ◆里芋の作付面積50a増加という目標は、すでに達成。
- ◆交流事業「ほたる祭り」を開催。平成30年の集客数は300人。
- ◆「くまさんの輝き」は試験栽培を実施。
しかし、農薬散布量などの課題があり、令和元年度は中止。



2. 今後の展開方向

- ◆最も大きな課題は地区全体の基盤整備。
引き続き取り組んでいく。
- ◆行政とのスムーズな連携を維持。
今後も引き続き、スムーズな連携を維持したい。